

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第162回 『あそび① 感覚あそび』

作業療法士 塩津 裕康

作業療法士の塩津です。作業療法士は、医学知識をもつ「生活・暮らしの専門家」です。そのため、子どもの体と心の発達や、生活（身の回り、あそび、字を書く等）の発達の知識を通して子育て情報をお伝えできればと思います。

さて、今回は「あそび」を取り上げてみたいと思います。子どもにとってあそびはとても重要な日々の活動です。なぜなら、子どもはあそびを通して体やこころを成長させ、さらにはさまざまなことを学習します。

あそびには段階があるとされています。それは、①感覚運動あそび、②単純あそび、③複合あそび、④ごっこ遊び、です。これらの中でも、今回は「感覚運動あそび」を取り上げてみたいと思います（②～④は次回以降にお伝えします）。

乳児～幼児期において、一番成長する臓器は「脳」です。脳が育つためには、さまざまな感覚を感じ、さまざまな運動をすることが重要で、これは「感覚運動経験」とも言えるでしょう。オトナからすると何が面白いんだか分からないと思いますが、子どもは、高いところに登る・飛び降りる、水たまりに入る、泥んこ遊びなどを好んで行いますよね？感染やケガなどから子どもを守ることはオトナの務めではありますが、一方で前述の行為が子どもの脳を育てているとすれば、いまいちどオトナが許容してあげられる範囲を考えてみるのが大切ではないでしょうか？特に現在の社会においては、この範囲が狭まっているように感じます。もしかすると、オトナが子どもの育ちの機会を奪っているかもしれません。

ところで、感覚の種類にはいわゆる五感に加えて、「前庭覚（ゆれたり・回ったりする時に感じる感覚）」と「固有受容覚（体の動きを感じる感覚）」があることはご存知でしょうか？子どものあそびを感覚の視点で見てみるとまた違った見え方がするかもしれません。これら7種類の感覚運動経験をバランスよく積み重ねることにより、身の回りのこと、コミュニケーション、さらには学校での勉強へと繋がっていきます。加えて言えば、これらの感覚は、子ども自身が動いて感じとった時にこそ脳が育つことが研究でわかっています。ぜひ、子どものモチベーションとチャレンジする機会を大切にしていきましょう。

感覚の種類



※塩津作業療法士は、あさひ園で個別療育を行っています。

6月の子育て支援事業



日 程	時 間	事 業 名	内 容	対 象	場 所	予約	担 当
6/11(四)・14(金)・ 18(火)・21(金)・ 25(火)・28(金)・ 7/2(火)・4(木)・ 9(火)	9:00-12:00	あ そ び 場	スキンシップ・ ストレッチなどの 遊 び	発 達 が ゆ っ く り の 子 ど も と 保 護 者	ほっとくらぶ	不 要	ほっとくらぶ (377-3522)
6/19(水)	10:00-12:00	ほ っ と す る 親 の 会	茶 話 会				
7/5(金)	9:00-12:00						
7/4(木)	10:00-12:00	親子ふれあい事業	集 団 遊 び な ど	未 就 園 児	児 童 館	要予約	社会福祉協議会 (377-2941)
6/23(日)	10:00-12:00	こども将棋教室	将 棋 教 室	小 中 学 生	教育文化施設	不 要	
6/8(土)・22(土)	15:00-15:30	お は な し 会	絵本の読み聞かせ な	お話を聞きたい方はどなたでも	あ さ ひ ライブラリー	不 要	教育文化施設 (377-6111)

*最終ページに子育て健康課の子育て事業を掲載していますので、ご覧ください。

*お問い合わせは、各担当者にご連絡ください。